

# ワシントン大学短期英語プログラムに参加して

札幌校 言語社会教育専攻 3年 永井夕海子

## 1. 受講した授業について

まず一日目にオリエンテーションとクラス分けのテストを行いました。テストはボキャブラリーとインタビューに分かれています。テストと言っても堅苦しいものではなく、ストレスのない状態でテストを受けることができます。午後からクラスごとにキャンパスツアーをして、とても広いワシントン大学を歩きました。二日目からは午前中に授業、午後（火曜日と木曜日）にフィールドトリップがありシアトルの観光地をみんなで回ります。私のクラスでは主にスピーキングに重きを置いて、ホームステイ先であった面白いことや日本での自分の生活について話すことが多かったです。英語で書かれた説明書を読みルールを理解してカードゲームをする日もありました。クラスの生徒が全員日本人だったり、先生が日本語を理解できたりしたのでわからないことがあれば少し日本語を使うこともありました。基本的には英語で授業が行われます。



ワシントン大学。  
これでもまだキャンパスの一部！！

週2回のフィールドトリップではたくさんのシアトルの観光名所に行きました。特に私が思い出に残っているのはパイクプレイスマーケットです。スターバックスの第一号店やたくさんの新鮮な食べ物が並ぶ市場があります。海も近いので天気がよければ眺めのいい景色も見るすることができます。



天気がいい日の  
パイクプレイス  
マーケット

## 2. シアトルでの生活について

私のホームステイ先はシアトル市内ではなく、その隣のリンウッド市だったのでほかの人より通学に時間とお金がかかりました。しかしホストマザーもホストファザーもとても優しい人でした。特にファザーは面白い人で、最初は緊張してシャイだった私をたくさん笑わせてくれました。映画を見るのが好きな家庭だったので、ご飯を食べた後は三人でいろいろな映画を見ました。ホストファミリーが話してくれるようなゆっくりで易しい英語ではないので理解するのが難しかったのですが、リスニングの練習にもなったしファザーが説明してくれるので楽しむことができました。

授業の後にフィールドトリップがない日にそのままステイ先に帰るのはもったいないので、教育大の人たちや現地でできた日本人の友達と必ずでかけるようにしていました。あらかじめネットで調べたり、先生に訪れるべきところはどこか聞いたりしていました。シアトルは雨が多くて靴もすぐ濡れるし、くせ毛の私はとても大変でした。土日も同じように家にいるのはもったいないと思っていたのででかけていました。シアトルからバスで3時間ほどのオレゴン州のポートランドというところに足を伸ばしたりもしましたし、カナダに行っていた人もいました。英語を使う機会も増えるので、暇なときは家にこもるよりたくさん場所に出かけるべきです。



3週間一緒に勉強した教育大の仲間たち

### 3. 次回の参加者に伝えたいこと

初日のオリエンテーションの時にチャージ額を自分で決めることができるオルカカードか、150ドルでバスや電車に乗り放題のU-PASSのどちらかを作るように斡旋されます。150ドルも使わないだろうと思い私はオルカカードにしましたが、上にも述べたように毎日どこかへ出かけるならU-PASSを選ぶべきです。また、スリッパ・タオルを持っていくと生活が楽です。アメリカの人は洗濯を週に1回しかしないので下着も1週間分といわずに10日分くらい持っていくといいと思います。シアトルはほぼ毎日雨が降るので靴がすぐだめになります。かさばるとは思いますが2、3足持っていきましょう。

最後に、このプログラムに参加して英語力が格段に上がったわけではありませんがリスニングが前より聞き取れるようになった気がしますし、英語を使おうとする姿勢が身につく、日常生活をするうえでは支障のないくらいの英語力や英語の表現を学ぶことができたので参加して心からよかったと思っています。少し残念だったのは先生、ホームステイ先以外の現地の人とのかわりが少なかったことです。このこともあり、留学に対する意欲が増したので自分にはプラスでしかない経験です。みなさんもぜひこのプログラムに参加してみてください！！！！



クラスメイトと先生との記念写真